## 防災訓練等指導業務報告書

リータ・ー	サフ*リータ*ー	サブリーター	サブリーダー	サブリーダー	サフ*リータ*ー	サフ*リータ*ー	事務局	事務局	事務局

研修 団体名				住 所	新居浜市東雲長1丁目4-23			電話	37-1294
研修日時	令和4年8月01日 月曜日 9時00分 ~12時00分		研修 対象者	山本校長他教職員			研修 人数	21人(4テブール)	
研修場所	新居浜市立東中学校 4階パソコン室				防災士の持っていない教員が多く、防災意識が低いので、今回の研修を機会に意識の向上を計りたい。				
講師	森野 重明	フアシリ テータ	馬越 健	近藤	雅義	菅 秀臣	菅 秀臣 オブザ		

事前打合せ										
日 時 令和4年		F7月26日 火曜日 9時00分 ~ 12時00分			場 所 新居浜東中学校 4階パソコン室					
参加者研修者	東中学校	教頭 堤氏			参加者 ネットワーク	馬越リータ	"一、菅事務局長			
•研修日時	İ	8月1日 月曜日 9時~12時				<ul><li>講習内容 地震バージョン 120分</li></ul>				
•場所		東中学校 4階 パソコン室 東中学校			・準備品について		教材(カード)、PC			
•参加者予	定						雑材 不足品等については学校にて準備			
			山本校長他30名程度を予定				設備(マイク、スクリーン)については			
		若い教職員が多い ネットワーク					学校機材を貸与			
		講師;森野								
		フアシリテー	-ター:馬越、	近藤、菅	講演開始は、9時といたします。					
	•	当日は、8時30分に	集合して、会	場準備を行う。						
	・テーブルへの振り分けは、ネットワークにて行う。									
		・駐車場は校舎西側に、6台分準備します。								

## 防災訓練等指導内容

・指導開始挨拶及びグループ分け → 馬越リーダー ・指導開始 → 講師 森野サブリーダー

避難経験の有無を参加者に確認 → 参加者が若い方ので経験は無

HUGの効果及び研修の方法、やり方の説明。

指導スケジュールの説明

①, 避難所とは ②, HUG体験研修 ③, 休憩・室内換気 ④感想、意見交換

①, 避難所とは → 助かった命を長らえる為に生活を行う場所。避難状況の説明。

②, HUG体験研修 カードの配り方、教室の使い方、グランドの使い方、ゲームの条件等の説明。

受付、掲示板の設置方法等についても説明を行う。

グループ内のリーダーの選出。カードの読み方 → 馬越リーダーにて個別に説明。

研修開始 カードNO1~15を読み上げカードの配列を行う。

ファシリテーターは、各テーブルを廻り指導を行う。

カードNO16以降を順次読み上げる。

A4用紙を使った掲示を行う。

各テーブルで質問を行う。 毛布はいつ届くのか?トイレの場所は・

使い方は・使用かのなのか?

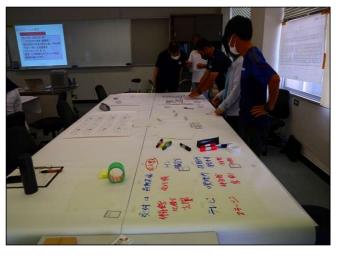
有効に活用できるように、掲示板への書 込方法を指導する

発行番号No.

令和4年8月1日









- ・カードの読み上げ枚数 テーブル 1 174枚、テーブル 2 182枚 テーブル 3 188枚 テーブル 4 190枚
- 各テーブルで体験研修意見集約を行い発表

テーブル 1 子供たちの避難配置が大変であった。

受付の重要性が理解できた。

テーブル 3 特に考えなく体育館に入れた。 教室も特に考えなかった。体育科には入りきれなかった ペットは入口の近くに配置を行った。 → 失敗であった。 障害者を優先的に配置を行った。 トイレの河川敷の利用は難しい。カードの配りが早い。

テーブル 2 体育館内に要介護者を入れた。 ペットは1カ所(武道場)集約した。

テーブル 4 掲示板には、日付・時間の書込をする。 訂正には赤字を使用した。 子供たちは、民生委員に任せては? 地区分けが難しい。 トイれは畑に設置した。

避難者は自治会単位で分けるのが良い。自助(避難者)の協力が必要となり、長期・短期者と分ける必要があり危機感 総評 を持って対応する必要がある。

・講師寸評 掲示板にトイレの場所を図示していた。 → 分かりやすく非常に良い。 避難所運営(HUG)は予習になり普段できないことが学習出来る。 地域の中に入り活動を行って欲しい。 トイレの使用方法については、一時的な簡易トイレ設置方法についての学習が必要。一番に考えなければいけない事であります。 解放できる教室については、普段より考えて置く必要があります。

・防災士ネットワーク所感

災害時に避難所になりうる中学校の教職員の先生方ということで、熱心に取り組まれており、掲示方法等についても工夫が なされていた。 HUGを通して、避難所となる学校の教職員としてどのように災害に向けた準備が必要かを考えておいていただきたい。

基本的には避難所は、小学校体育館が使用されるが感染症で分散避難の必要性が発生したときには、中学校が必要となります。

学校と地域と連携を図るため事前協議会を立ち上げるなど対策を進めていただき、大切な命が守れるようにお願いしたい、